

転写厳禁

第3回 Vectorworks 操作技能マスター認定試験

筆記試験問題 (抜粋)

出題概要

1. 試験問題および解答用紙は Windows、Macintosh 共通です。
2. 問題文の挿絵は、Vectorworks Designer with Renderworks 2011J を使用しております。
3. 制限時間は60分です。
4. 問題は5部門で構成されています。
5. 各部門の過半数以上が正解、かつ全体で概ね7割以上の正解を合格とします。
6. 各部門の問題数は以下の通りです。答えは全て解答用紙に記入してください。

部門	問題数	配点	合格基準
Vectorworks Fundamentals 環境部門	4 問	15 点	8 点以上
Vectorworks Fundamentals 基本部門	17 問	65 点	33 点以上
Vectorworks Fundamentals 活用部門	2 問	5 点	3 点以上
Vectorworks Designer 部門	2 問	5 点	3 点以上
Renderworks 部門	3 問	10 点	5 点以上
全体		100 点	概ね70 点以上

以下、必ずご記入ください

受験会場 ☐東京 ☐大阪

受験番号 VWM03-110730-

受験者氏名

認定試験実施機関

Vectorworks 日本語版総販売元 エーアンドエー株式会社

Q 3

各 1 点（3 点）

デザインレイヤの縮尺についての説明です。正しい説明には○印を、間違った説明には×印を記入してください。

1. デザインレイヤごとに異なった縮尺を設定することができる。
2. スケールテキストにチェックが入っている場合、文字の大きさも縮尺に追従して表示される。
3. 縮尺を変更した場合、図形につけた模様も縮尺に追従して表示される。

1	2	3

Q 4

各 1 点（3 点）

「不要情報消去」コマンドで、消去できるものには○印を、消去できないものには×印を記入してください。

1. クラス
2. ハッチング
3. 模様

1	2	3

Q 2

各1点（4点）

2D基準点ツールについての説明です。正しい説明には○印を、間違った説明には×印を記入してください。

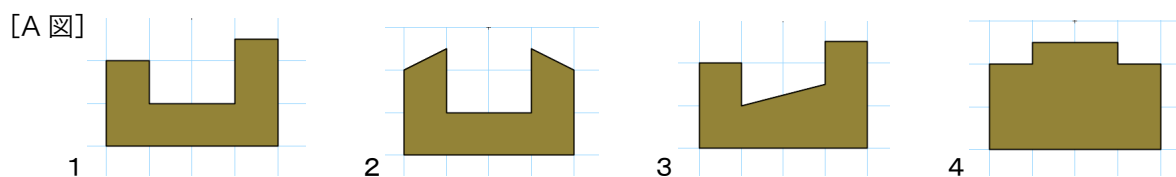
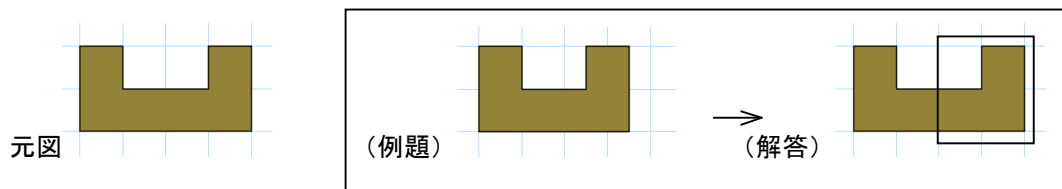
1. 環境設定で印刷する、しないの設定ができる。
2. 整列コマンドで、整列の基点として利用できる。
3. 3Dパス図形（E）コマンドで、断面図形に対してパスの通る基点として利用できる。
4. 回転体コマンドで、回転の中心軸として利用できる。

1	2	3	4

Q 8

各1点（4点）

下の元図に2D変形ツールでパラメトリック変形をかけると[A図1～4]の結果となりました。例題を参考に
変形するそれぞれの元図[B図]に、[A図1～4]になるように変形する範囲指定を□(1つ)で囲んでくだ
さい。








[B図]

1	2	3	4

Q 1 2

各 1 点 (5 点)

NURBS 円弧ツールについての説明です。NURBS 円弧ツールに該当するモードには○印、該当しないモードには×印を記入してください。

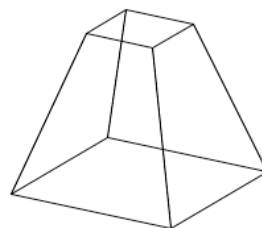
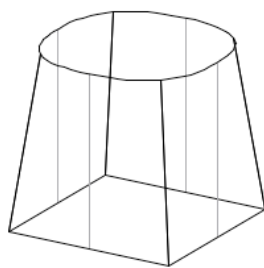
1.  弧端の 2 点と中心を指示する「始点、半径による NURBS 円弧作成モード」
2.  円弧の始点、通過点、終点の順に指示する「3 点による NURBS 円弧作成モード」
3.  始点、終点、円弧上の点の順に指示する「始点、終点、円弧上の点による NURBS 円弧作成モード」
4.  接する直線上の 2 点、終点の順に指示する「接線と終点による NURBS 円弧作成モード」
5.  中心、始点、終点の順に指示する「半径と円弧の長さによる NURBS 円弧作成モード」

1	2	3	4	5

Q 1 5

各 1 点 (4 点)

下の 3 D 図形を作成するにあたり、2 図形どちらも作成できるツールやコマンドには○印を、片方だけやどちらも作成できないツールやコマンドには×印を記入してください。



1. 軸と曲線から NURBS 曲面を生成
2. 多段柱状体
3. 3 D パス図形
4. 多段曲面

1	2	3	4

Q 2

各 1 点（4 点）

DXF ファイルを取り込んだ際に、実際の寸法よりも 2 倍に図面が取り込まれてしまいました。対処の方法として正しいものには○印を、間違った方法には×印を記入してください。

1. 取り込み後にレイヤの縮尺を倍に設定した。（例：1/100 を 1/50 に設定）
2. 取り込み後に Vectorworks の単位設定でカスタムを選択し、換算（既存単位基準）をカスタム単位 0.5 で 1 ミリメートルと設定した。
3. 取り込み時のカスタム設定にて、モデル空間の単位をカスタムにし、2DXF 単位＝1mm と設定した。
4. 取り込み時のカスタム設定にて、モデル空間の縮尺の縮尺ボタンから全レイヤオプションを有効にした。

1	2	3	4

Designer 部門

配点 5 点

Q 1

各 1 点（4 点）

ファイル共有についての説明です。語群より記号を選び文章を完成させてください。

ファイル共有には、参照位置の保存を（ 1 ）パスと（ 2 ）パスのどちらでも選べますが、現在開いているファイルが名称未設定の場合は（ 1 ）パスしか選べません。また、ファイル共有の方法はレイヤ毎に共有する方法と、Designer 及び Architect 機能の（ 3 ）で共有する方法があります。この（ 3 ）で共有する方法は、シートレイヤの他にデザインレイヤにも表示させる事ができます。参照元のファイルに変更が生じた場合は、オーガナイザダイアログまたは（ 4 ）パレットのファイル共有タブ内で、ファイル名が赤字で表示されます。

語群： ア．ビューポート イ．画面登録 ウ．相対 エ．絶対 オ．ビジュアルイズ
 カ．データ キ．ナビゲーション ク．リソースブラウザ ケ．ワーキングプレーン

1	2	3	4

Q 2

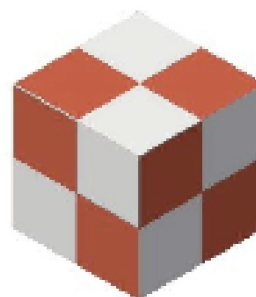
各 1 点 (5 点)

Vectorworks で作成した 2 D 図形をテクスチャにして、3 D 図形に割り当てる手順の説明です。語群より記号を選び文章を完成させてください。

2 D 図形



3 D 完成図



ファイルメニュー>取り出す>(1)を選び、作成した 2 D 図形の部分だけ範囲指定をして(2)形式で保存します。(3)パレットから新規にテクスチャを作成し、テクスチャの編集ダイアログ内の(4)属性で(5)を選び、保存した(2)ファイルを指定します。出来上がったテクスチャを 3 D 図形にドラック&ドロップで割り当てます。

語群： ア. 3DS イ. PDF ウ. イメージファイル エ. JPG オ. KML カ. データ
キ. ビジュアライズ ク. リソースブラウザ ケ. バンプ コ. 反射 サ. 色
シ. イメージ ス. タイル

1	2	3	4	5